

桜美林大学の学生と教育

— 10 年間の変化と現状 —

日時：2018年2月21日(水) 10:00～12:00

場所：理化学館 1階 S101 教室

開設 10 周年を迎えた大学教育開発センターは、IR 部門の活動の一つとして本学の学生と教育に関するデータを蓄積して参りました。毎年の基本データを集約したものが『桜美林大学 Fact Book』であり、今年度版が 10 冊目となります。学群 1・2 年生を対象に実施している調査「大学生基礎力レポート」や、日常の教育活動・学習活動の集約としての GPA (Grade Point Average) の分析も、数年来続けております。

今回のシンポジウムでは、Fact Book に蓄積されたデータの分析から、この 10 年で本学の入学状況や教育条件がどのように変化したかを把握します。次いで、このような本学に入学した学生の特徴を学群別に明らかにします。さらに、学修成果としての GPA が学年が上がるにつれてどのように変化しているか、また、そのような変化が以前の学生と最近の学生とではどのように異なるかを検討します。こうした分析が本学の教育改善の方向を考える手がかりになれば幸いです。

プログラム

10:00～10:05 開会挨拶

大学教育開発センター長・大学アドミニストレーション研究科教授 鈴木 克夫

10:05～10:30 この 10 年で何が変わったのか? —Fact Book データの分析から—

大学教育開発センター IR 部門主任・大学アドミニストレーション研究科教授 浦田 広朗

10:30～10:55 学群別にみる 2017 年度入学生の傾向 —大学生基礎力レポートからの分析—

大学教育開発センター IR 部門研究員・リベラルアーツ学群教授 藤川まなみ

10:55～11:20 GPA からみた学修成果の変化

大学教育開発センター IR 部門研究員・人事部長 鳥居 聖

11:20～11:55 全体ディスカッション

11:55～12:00 閉会

全体司会：大学教育開発センター IR 部門研究員・リベラルアーツ学群准教授 大中 真

※参加申込は不要です。直接、会場にお越しください。